

セミナー通信

教育実習総合センター

新任教師の仕事・心構え

後期セミナーでは、教師力向上講座として、現場で活躍されている先生方をお迎えしました。4月より新任教員として教壇に立つた皆さんに再度「学級経営力」について特別講師から伺ったお話をまとめてみました。是非、参考にしてください。

新任教師となる皆さんへ

加古川市立東神吉小学校
末永 綾子 教諭

四月一日 始まり、始まり。

採用おめでとー！
○辞令交付式
○着任 ○職員会議
○学校目標 ○学年発表
○学年会議 ○書類作成等
初日よりフル回転です。

さあ、新学期を迎える準備を始めましょう。と、張り切っています。日が足りない！と焦らないように今から心の準備をしましょう。
学級開きにたどり着くまでに

- 校務分掌決定
- 補助教材の選択
- 児童の引き継ぎ・指導要録
- 教室や下駄箱等の準備
- ロッカーの割り当てや名札付け、掲示物の準備。
- 配布物の準備
- 年間計画作成と教材研究
- 学年の学習内容の確認

さあ、学級開き

- ・自己紹介を大切に
- ・子どもの褒めポイントをさがして
- ・叱るライン・褒めるラインを明確に
- ・子どもにも目標を提示する

黄金の3日間というけれど……

- 第一印象
- ・初日
- ・三日間
- ・一週間
- ・一ヶ月……家庭訪問・参観日
- ・一学期間
- ・一年間 行事ごと、機会あることにリセット・進化させよう。



学級経営はいつどこで

朝の会、休み時間、給食、掃除、終わりの会、…… 勿論学習中も

学校生活全てで意図的に実施しよう

①人間関係を築く

・担任と子ども

・子どもと子ども

※教師自身も教職員集団へ積極的に加わる

②学級集団をつくる 育てる

・どんな集団にしたいのか

・ルールづくりは三日・一週間・四月

・学習集団づくり

・係活動

・宿題や忘れ物は子どものやる気のバロメーター

・目標を明確に

※一人一人を育てることが、学級集団を育てる第一歩

③授業をつくる

・教材研究：単元・本時のねらい、

・一年間の見通しを提示(指導と評価)子どもの特性

・集中時間五分、競争大好き

・学習の基礎

・興味関心は好奇心から聞く力 書く力 話す力

・子どもの気持ちになつてつくる授業



よさを認め合い、安心できる学級集団へ

心がけていること

- ①学級経営のイメージを明確にする
- ②子どもと向き合うときの自分の姿勢
- ③道徳教育を基盤として学習で、子どもを育てる
- ④ほめること・叱ること
- ⑤ピンチは、チャンス！
- ⑥生きる力を育てる

将来、社会人として生きる姿を見据えて、今を育てる。すてきな先生になるために

・悩む・見つける・微笑む・笑う
・泣く・話す・スキンシップ・文字
・努力する

※大切な一年間を預かっている自覚を持つこと

※テーマを持って、研究を進めよう

母校実習、実地研究Ⅰ・Ⅱ、インターシップ等々、学校現場を体験体感してきた皆さんです。実際現場に立つとまた違う面が見えてくると思います。戸惑うことも多いかもしれませぬ。一人でも悩まず、周りにいる先生方や同僚、管理職の先生方に大いに相談しましょう。新任は一年間だけです。あなた自身の居場所をつくり、子どもたちと楽しい学校生活を送ってください。

実地研究でお世話になった『若い先生方から贈る言葉』

加古川市立東神吉小学校長 荒木 智子



変化の激しい社会の中で、学校にいろいろなことが求められています。学習指導に生徒指導、学級経営に校務の処理等々、課題は山積みです。しかし、「教職」は、未来を担う子どもを育てるというやり甲斐のある仕事です。これからの若い先生方に贈る言葉は、次の二つです。

まず、「迷ったときは子どもにとって何が一番大切かを考える。」そうすれば、自ずと答えは出ます。中心にあるのは子どもです。子どもに寄り添うことが教師の仕事です。

二つ目は、「自分自身が人として成長する。」趣味や教育以外の外的世界と関わって、自分の世界を広げる。教師として人として、より大きく豊かになることが、子どもを育てることにつながります。まず自分を育てましょう。

『愛される教師をめざせ』

稲美町立母里小学校長 佐藤 昭則

夢と希望を持ち、努力して教師になったのに数年で辞めてしまう人がいます。



私も担任五年目で、休職し、辞めようとした一人。その経験から一言。『教師を辞めるな！』です。教室で泣くのも、追いつめられ暫く休むのもよし。まずは、コミュニケーション力と協働の姿勢を身につけることが大切です。そして、子どもや職員、保護者に『愛され、助けてもらう教師』をめざすのです。そのために、自分から進んで学年や同僚のために時間を使い、保護者へは、積極的に情報を伝えるのです。

ある意味たたかたでも挫けず、開き直る心構えを身につけることが大切です。『これからの若い教師に望むこと』

加東市立東条東小学校長 辻田 昇司



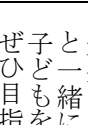
昨夏、尿管結石になった時のことで。朝、尋常でない腹痛で目が覚めました。病院へ搬送される間や診察の待ち時間に、あまりの痛さに何度か吐きました。検査結果が出るまでベットに寝かされたが、痛みは一向に治りません。鎮静剤を注射してもらっても少しも楽になりません。

そんな中、一人の看護師さんが「痛いね。つらいね。」と、絶えず私を気遣ってくれました。他に多くの患者さんがいるにもかかわらず。頼りになる人がそばにいて、自分の辛さをわかってくれることが、こんなにも有り難いんだと、苦しみの中でも安心したことを思い出します。

これから教師になる皆さんには、子どもの心を察して、一人一人に寄り添える先生になつて欲しいと願います。子どもと一緒に喜び、子どもの辛さがわかり、子どもを泣きながら叱る、そんな先生をぜひ目指してください。

『これからの若い先生に望むこと』

三木市立別所小学校長 大北 由美



教師に求められる必須の資質、能力は多岐に渡ります。これは、若手教師だけではなく、教壇に立つ全ての教師が常にチェックされるべきものである。しかし、とりわけ若い先生にこそ望むものは、教師としての使命感と情熱である。そして、それは「授業」に表れなければならない。やはり、「教師は、授業で勝負する。」のである。

優れた教科書や実践記録を読み、先輩に教えるを請い、必ず授業実践に生かす。失敗しても自らを高めるために前へ前へ進む強靱さが必要である。そして、決して孤立せず、学校という教師集団との連携を大切にしながら、日々の研修活動に努力を続けられる人であってほしい。

『自分で選んだ道をどう生かすか』

西本 弘子

教師の仕事は、国際社会に生きる子どもにも生きる力を育むことです。そのためには、初々しい感動、新しい命のようなものが教師の側にないと子どもを惹きつけられませんか。人柄の良さや研究の深さ、子どもへの愛情、これまでの積み重ねた努力や経験等、全てが生きた力となって子どもに伝わっていきます。

兵庫教育大学教職大学院は、教師教育理論を学ぶ「クールな研究」と、教育現場に向いて学級経営、授業研究等を学ぶ「ホットな研究」を通して、大学と教育現場双方の学びを融合して、教師になるための資質と能力を高めていきます。一年次より、教育理論や学校訪問等を通して、「求められる教師像」と共に教師の魅力、夢が個々に広がりを見せていることでしょうか。また、二年次の皆さんは、学校現場で自己の学びが実現できた喜び、失敗を成果に変えようと指導を仰ぎながら研鑽を積む中で、より一層、教師への手応えを実感したことでしょうか。

常に、先愛後楽的な姿勢で、自分が選んだ道の実現に向けて邁進しましょう。

教員採用試験に向けて

昨年9月の下旬、兵庫県の教員採用試験の合格通知が来りました。合格できたのは自分の力だけではありません。教員として、また教採に向けて講義して下さった先生方、教育実習総合センター、キャリアセンターの方々の支援、同じ目的を持った仲間たちのアドバイスがあったからこそです。

大学院での生活は、自分に任される時間がとても多いです。講義や研究、レポートや課題等様々なことがありますが、私は、いかに教採対策に時間を割くか、自分のスケジュール管理を徹底して行いました。その時間も1時間2時間と少なくなつてしまふことがあり、今日は何をするかを集中して取り組みました。みなさんも自分の対策を練り、頑張ってください。

本号で26年度のセミナー通信は終了です。四月から教壇に立つみなさん、子どもたちや多くの方々との出会いを楽しんでください。

院生のみならず、次は、みなさんの番ですね。教壇目指してレッツ・ゴー！